



# 佐々木中学校だより

E-mail [sasaki-jhs@inet-shibata.or.jp](mailto:sasaki-jhs@inet-shibata.or.jp)

電話 0254 (27) 2505

## 思いを胸に、力強く最後まで戦いぬく姿を

卒業おめでとうございます。卒業生のみなさんは、いつも表情が豊かで、言葉遣いがさわやかでした。みなさんのアイデア豊かな独創力、そして何でも楽しみに変えていくバイタリテイの力で、創立70周年行事として開催した体育祭や合唱コンクールも大いに盛り上がりました。体育祭では両軍団長のリーダーシップの下、生徒数が2倍にも3倍にも感じられるほど、全員が様々な競技や応援に真剣に取り組みました。また、合唱コンクールでは、最後に会場全員で「ふるさと」を歌いました。地域のみなさんや保護者の方々と

中学生とが一緒に声をそろえて歌えた場面は、70周年にふさわしい瞬間でした。この素晴らしい企画も、卒業生のみなさんによる発案でした。

2月の平昌オリンピックでは、日本代表選手が大活躍した様々な場面が心に残りました。女子スキージャンプノーマルヒルの伊藤有希選手が、チームメイトの高梨沙羅選手が銅メダルを獲得した瞬間に、高梨選手に抱きつき、「おめでとう」と声をかけた場面がありました。伊藤選手は高梨選手よりも2歳年上。自分がメダルに届かなかった悔しさを表すことなく、後輩の高梨選手の4年間の苦労が報われたことを、本人よりも喜ぶ姿がありました。スピードスケート500mで金メダルを獲得した小平奈緒選手の活躍も感動を呼びました。小平選手は、オリンピック終了後に大会を終えての感想を求められ、次のように答えています。

「たくさんのメダルを獲得できたのですが、それ以上に一番重要なことは、出場選手みんながそれぞれの舞台上、それぞれの思いを胸に、力強く最後まで戦い抜く姿を見せたことです」。

伊藤選手の姿には、相手を讃え、相手を思いやる心がありました。小平選手の言葉には、周囲の賞賛がメダリストの活躍にばかり向きそうな中でも、結果ではなくて、その努力の過程にこそ最大の価値があると伝えたいという気持ちが感じられました。3年後の2020年夏に、東京オリンピックが開催されます。その頃には、みなさんは、今の姿とは比べものにならないくらいもっと大きく成長していることでしょう。今後、さらに大きな成長を遂げるためにも、オリンピックで活躍した選手たちのように、これからの毎日で次の3つのことを心掛けてください。

- 一、具体的な目標を設定してください。
- 二、その目標の実現に向けて、小さな一歩ずつでも、絶えず努力を続けてください。
- 三、周囲の人に支えられていることを忘れず、感謝の心をもち続けてください。

みなさんが将来社会人となり、自分の力を120%発揮できるような大舞台に立ったときには、オリンピックの金メダリストのような活躍を目指してほしいですし、小平選手の言葉のように、それぞれの思いを胸に、力強く最後まで努力し続ける姿を示してください。

卒業生のみなさんの晴れの門出にあたり、校歌に謳われていることばを借りて、次の言葉を送ります。「第71回卒業生のみなさんの将来に栄光あれ。」

平成30年3月9日 新発田市立佐々木中学校長  
(卒業式「学校長式辞」から抜粋して掲載しました)



# 私たちを導いてくれた卒業生のみなさんへ

## 送辞

## 在校生代表 2年 F

厳しい寒さの冬も終わり、春の暖かさが感じられます。卒業生のみなさんは今、かけがえのない思い出がたくさん浮かび、新たな生活への希望で胸がいっぱいのことでしょう。

私たち在校生も卒業生との思い出の中では、みなさんはいつもリーダーシップを発揮し、全校の手本として私たちを導いてくれました。中でも特に思い出すのは、全校で一丸となって取り組んだ体育祭です。一番大きな声で、一番すばやく練習する姿はとても頼りになりました。そして、暑い中での練習のときには、私たちの体調を気遣ってくれる優しく思いやりにあふれる先輩でした。

また、合唱コンクールの全校合唱の際には、私たちの練習の進捗状況をいつも確かめてくれました。常に意見を出し合って、最高の合唱を目指す姿はとても素晴らしいものでした。本番では、全校の一体感が生まれ、大迫力の合唱をすることができました。

みなさんが卒業してしまうのはとても悲しいです。佐々木中学校から、そして私たちからとても大きなものがなくなってしまうような気がしてさみしいです。卒業生のみなさんから教えていただいたこと、受け継いだ伝統を新しく入学する1年生につないでいけるように、みなさんのたくましく、優しい姿を手本にして進んでいきます。

卒業生のみなさんのこれから歩む道が、光り輝くものとなるように、在校生一同、心からお祈りしております。（一部を抜粋して紹介しました。）



## 優しさと厳しさで支えていただいた3年間への感謝

答辞 卒業生代表 Ⅰ

厳しい寒さに見舞われた冬も終わりを告げ、春の気配が漂い始めました。私たち17名は佐々木中学校を卒業します。振り返ると、仲間と共に過ごした日々、たくさんの思い出が昨日のここのようによみがえってきます。

三年前の入学式。何もかもが初めてで新鮮でした。特に印象に残っているのが、集団行動「巴」です。全校生徒で一つのを創りあげるといのは、初めての経験でしたが、今まで受け継がれてきた佐中の伝統をこれからも残していくため、先輩方を目指してがんばりました。そして、日体大との交流をきっかけに取り組み始めた「巴」進化バージョン。全員が心を合わせ、佐々木中に新たな歴史を刻むことができました。部活動では、毎日顔を合わせる仲間と競い合い、励まし合い、共に成長することができました。よい成績を出すために努力することはもちろん、人として大切なこと、感謝の気持ちを教えてもらいました。

最高学年となった今年度は、「最後」という言葉がついてくることが多かったです。体育祭当日は、声が枯れるほど応援し、涙あり、笑顔ありの本当に充実した一日になりました。合唱コンクールで歌った「虹」も忘れられません。笑顔を忘れずに、真剣に合唱練習に取り組みました。聴いている人の心に私たちの3年間の思いを届けられるようにがんばりました。また、3年生の保護者の方々が、私たちのために歌ってくださった「365日の紙飛行機」もとても嬉しかったです。

今ここにいる仲間と出会って9年。そばにいたことが当たり前だと思っていた友達。私たちはこんなにも大切な宝物をいつの間にか見つけていました。だからこそ、今日という日までがんばってこられたのだと思います。一緒に泣いたり、笑ったりするのも今日が最後だと思うと、とてもさみしいです。

今日を境に別々の道を歩き出しますが、私たちはずっと友達です。今まで本当にありがとう。

在校生のみなさん、進級すると、これまでとは違って戸惑うこともあるかもしれませんが、一人で悩まず相談することを忘れないでください。周りには、親身になって聞いてくれる友達や先輩、先生、家族がいるはずです。

私たちは今日、佐々木中学校をあなたたちに託します。今よりももっとすてきな学校を創ってってください。

お父さん、お母さん、今日までたくさんの愛を注いで、育ててくれてありがとうございました。これからもどうぞよろしくお祈りします。

私たちは、佐々木中学校の生徒であったことを誇りに思い、新しい世界へ羽ばたきます。最後になりましたが、母校佐々木中学校のますますのご発展をお祈り申し上げ、答辞といたします。

(一部を抜粋して紹介しました。)



**1年 IN** 卒業式を終えて、「もう3年生は卒業してしまうのか」と思いました。これからは2年生として新1年生を引っ張りたいです。卒業生は、とても明るくて元気で、いつも全校を引っ張ってくれるリーダーでした。尊敬できる先輩で、自分から積極的に行動している先輩方のようになりたいと思いました。校内を歩いているときに話しかけてくれたり、同じ清掃班になったときに、どう行動した方がいいかを教えてくれました。これからは、新入生にちゃんと佐々木中学校のことを教えて、すぐに中学校生活に慣れてほしいです。

**1年 YH** 卒業式前の在校生合唱練習中にS先生に指摘されたことを少しずつ練習を重ねて直してきました。本番ではもうこれ以上声が出ないというくらいに歌い、在校生全員の思いを卒業生に伝えられたかなと思います。式典では、Mさんと一緒に指揮台を出し入れする係でした。練習中も本番でも、Mさんと息を合わせて動くことができたのでよかったですと思います。(でも、本番はかなり手が震えてしまいました)

**1年 WR** 卒業式前日の会場準備では、私たち1年生女子は会場のパイプイスや花や暖房器の設置をしました。イスを並べるときは、去年の写真を見て、みんなで真剣にイスを並べました。私も、保護者の方たちに3年生の姿がよく見えるように、入念にイスを並べました。よく出来たのでうれしかったです。花の並べ方も会場の雰囲気盛り上げるために欠かせない大事なことです。私はあまりセンスがないので、他の人たちが真剣に考えていました。会場づくりという大事な仕事を引き受けた1年生でしたが、よい感じに会場を整えることができました。卒業生のみなさんを気持ちよく送り出すことができたと思います。

**2年 NA** 生徒会として、階段に写真やメッセージの貼り付けをしました。卒業式当日の朝、階段に貼った写真がはがれかけていて直すのに時間がかかりましたが、卒業生がそれを見て、喜んでくれていてがんばってよかったですと思いました。卒業生代表として「答辞」を述べた清華さんの「これからの佐中をあなたたちに託します」という言葉で、来年3年生になる私は、強く責任を感じました。

**2年 IT** 卒業式準備では、3年生の教室の装飾を担当しました。黒板の装飾にはとても時間がかかりましたが、5・6人の人が手伝いに来てくれたおかげで、とてもよい装飾をすることができたと思います。今年が、卒業生を送る側として最後の卒業式だったので、準備をがんばって、卒業生を見送ることができてよかったです。来年は去る側だから、今の1年生や入学してくる新1年生に、精一杯送ってあげたいと思われるように、これからがんばっていきたいです。

**2年 TR** 卒業式が終わってしまったら、なぜか空気が重くなったように感じられました。それは、3年生の先輩が卒業してしまったという不安、そして、これから自分たち2年生が最高学年になるという責任感が大きく影響したからです。ですが、不安な気持ちばかりで最上級生になったら、来年度の1・2年生を引っ張っていけないので、しっかりとした責任感をもちつづけて生活したいです。

**2年 SY** 今年の卒業式では、僕たちは2年生なので、去年の卒業式よりも何かしないと、という責任感がありました。それで、在校生による合唱「さよならは言わないで」を大きな声で歌って、卒業生が安心して卒業できるようにしようと思いました。3年生も笑顔で卒業してくれてとてもよい卒業式になったと思います。後片付けでも、自分から進んで掃除やイスの片付けができたので、1年生の頃よりも成長できたと感じました。



## 体育文化後援会から「メダル」が授与されました

卒業式を数日後に控えた3月9日（月）に、今年度の体育的活動や文化的活動で顕著な功績を挙げた生徒、ならびに、毎年度春に実施している体力テストで新記録を樹立した生徒に、佐々木中学校体育文化後援会渡邊会長と阿部副会長から「体育奨励賞」・「文化奨励賞」のメダルが授与されました。



今年度の陸上競技部では男子3名が県大会に出場し、女子リレーは通信陸上県大会で5位入賞という素晴らしい結果を残しました。また、柔道部と剣道部では2年生が県大会個人戦に出場し、来年度のさらなる活躍が大いに期待されます。



17名の生徒がメダルを授与されました。

文化的活動でも、県ジュニア美術展で2名が奨励賞を受け、そして、県書き初め大会や県競書大会では2名が準特選を獲得しました。特に、新潟日報ジュニア文芸で「年間大賞」を、在校生が2年連続で受賞するという大きな嬉しい知らせもありました。

メダルを授与された生徒の表情には達成感が見え、加えて、自分の取り組んできた体育的・文化的活動での成果を誇らしく思う気持ちを感じられました。

授与式の最後には、県陸上大会で200m7位に入賞したSさん（本年度卒業生）から「メダルをいただいたことを誇りとし、高校に進学しても、練習に励み、インターハイで活躍する選手に成長していきたいです。応援ありがとうございました。」と、お礼の言葉がありました。（詳細は、先日地区内で回覧された「体育文化後援会だより」でもお知らせしました。）

## 学習にがんばっています。

## 英語検定で2級に合格しました。



「英検2級」合格体験談 1年 NT

どの科目の勉強でも、その科目に興味をもち、好きになることが大事だと思います。僕は英語の学習が大好きです。自分の英語力を高めるために、時々英語のニュースを聞いたり、外国の映画を字幕の助けを借りずに観たりしています。これからももっと学力を高めていけるように、しっかり勉強したいです。

## 第15回斎藤茂吉ジュニア短歌コンクールで4編が賞をいただきました

最優秀賞 Y

簡単に 解答見れば」という母に

2分戦つ 僕のプライド

創作した時の気持ち

普段の家での会話をもとにして、短歌を作ってみたかと考えました。ある日、家で数学の宿題をしていたときに、母にかけられた言葉をきかっけにしました。作り始めたら、あつという間に57577のリズムで言葉が出てきました。他の3人も受賞できたと聞き、嬉しさがまた湧いてきました。みんなを代表する気持ちで、5月の山形県上市市での授賞式に出席したいです。

優秀賞 S

やる気ってどこから生まれて来るのかな？

トランペットを 吹いてみようか？

創作した時の気持ち

放課後の部活動の時間が始まり、吹奏楽部の練習に足が向かなくなりそうになった時の気持ちを思い出して、短歌にしました。今は、新入生歓迎会に向けての曲を練習しています。練習することで少しずつですが、確実に上達できていることを実感しています。これからも、吹奏楽部のメンバーと一緒に練習をがんばり、トランペットがもっと上手くなりたいです。

入選 T

十月の五時には暮れる帰り道

部活の片づけ今日も急ぐ

創作した時の気持ち

秋から冬にかけての部活動は、午後五時に活動が終了します。秋は、日暮れがどんどん早くなる季節です。だから、僕は、部活動が終わったら早く帰りたいなと思っていました。

この短歌を作った頃は、まだスクールバスが始まる直前で、みんなが自転車で帰っていた頃です。夕日が沈んで暗くなった道を帰りたくないから、早く部活動の片付けを済ませてしまおうと思っていたことを短歌にしました。

入選 K

鼻の奥寒さでツーンとする夜は

犬と一緒に暖を取ろうか

創作した時の気持ち

下校するとき、自転車で乗っていると冷たい風が耳や口元に当たると寒い季節が始まってきた頃に思いました。家ではコーギー犬を飼っています。いつもは、外につないで飼っているのですが毎年冬が近づくと家に入れてあげます。

冷たい風が顔に当たってくるのを我慢しながら下校している時に、愛犬レックスを思い出して早く家に入れてあげたいな」という気持ちを短歌にしました。

## 生徒会による初めての「生徒朝会」

卒業式目前の3月2日（金）に生徒朝会が行われました。生徒会長を中心とする生徒会初の生徒朝会でした。S生徒会長をはじめ、2年生の専門委員長一人一人が緊張感いっぱいでしたが、とても立派なあいさつができていました。生徒会のやる気を感じ、3年生もきっと安心することができたにちがいありません。

### S 生徒会長の話

卒業式が近づいてきました。練習にも集中して取り組みましょう。また、集団行動「巴」の引継ぎも行われます。先日、1・2年生の巴を見てもらった後で3年生に言われたアドバイスを意識して、引継ぎ本番ではしっかり演技しましょう。



新専門委員長が活動予定を伝えています。話を聞く生徒の姿勢も立派

## 平成 29 年度末で退職・転出する先生方からお別れのことば

平成 29 年末をもって、佐々木中学校から異動（退職・転出）となる先生方がおられます。

生徒のみなさんや保護者・地域の皆さまから、温かなご支援、ご指導をいただきました。心より感謝申し上げます。離任を前に、異動する教職員から「お別れのあいさつ」をいただきました。

異動する教職員	勤務年数
I 主査	3 年
S 教諭	3 年
T 教諭	3 年
K 養護教諭	3 年
I 非常勤講師	1 年
O 補助教員	9 年



### 事務主査 I 先生

佐々木中学校を最後に退職することとなりました。かわいい生徒たちと温かい地域の皆さま、そして愛情をもって生徒を指導する教職員の仲間に支えられた毎日でした。本当にお世話になりました。ありがとうございます。特に今年度は、創立 70 周年記念という節目の一年にふさわしい、

すばらしい体育祭、合唱コンクール、卒業式でした。各行事のたびに、全力で取り組む生徒の姿からたくさんの感動をいただきました。佐々木中学校で勤務した 3 年間は、笑顔がすてきで元気なあいさつが身に付いている生徒たちに囲まれ、生徒と一緒に大好きな植物を植え、育てることができ、毎日



出勤するのが楽しみでした。11月に行った全校花植えボランティア活動の後に、生徒のみなさんが一緒になって私の還暦の祝いをしていただいたことは、一生忘れられない思い出です。退職前最後の3年間を佐々木中学校で勤務できたことに心より感謝しております。これからの佐々木中学校のますますの活躍をお祈りいたします。

### 教諭・1 学年主任 S 先生

佐々木中学校には3年間お世話になりました。貴重な経験をたくさんさせていただきました。特に今年度は、合唱コンクールで地域の皆さんと一緒に「ふるさと」を歌ったり、1 学年の地域活性化プロジェクト「佐々木 PR 大作戦」を行ったりするなど、地域にかかわる新しい活動にチャレンジすることができました。様々な取組で、地域の皆さんからも快くご協力をいただき、たいへん感謝しております。4月からも、佐々木中で学んだことやチャレンジする気持ちを忘れずに頑張っていくつもりです。生徒のみなさんも、どんどん新しいことにチャレンジして、自分の可能性を伸ばしてってください。そして、今以上に笑顔あふれる佐々木中を築いてってください。保護者の皆さん、地域の皆さん、そして佐中生のますますのご健勝とご活躍をお祈りいたしております。今までありがとうございました。

### 教諭・教務主任 T 先生

3年間お世話になりました。まっすぐな考えをもち、何事にもひたむきに取り組む生徒、様々な場面で快く協力していただいた保護者の皆さまに支えられ、とても有意義な日々を過ごすことができました。3年前に佐々木中に着任した時には、いくつもの驚きがありました。普段明るくにこやかな生徒たちが、全校朝会などの集会時には、団長の号令に合わせてきびきびと、そしてはつらつ

と動く姿を見せてくれました。その姿に心を洗われ、感動したことをはっきり覚えています。佐中生のすばらしさの原点には、「当たり前」の水準の高さがあります。例えば、そうじにきちんと取り組む、授業を真剣に受けることがちゃんとできます。佐々木中学校には、全校生徒が一つになって、先輩から代々受け継がれてきている水準の高さを守っていこうという意志が満ちあふれています。その雰囲気ですばらしいのです。これからも、よき伝統を受け継ぎ、「佐々木中学校はすばらしい学校です」と自信と誇りをもって言えるような、そんな学校を築いていってほしいと心から願っています。これからの佐中生の成長と佐々木中学校の発展を、本当に楽しみにしています。

### 養護教諭 K 先生

佐々木中学校に着任後に初めて「巴」を見たときに、鳥肌が立つほど感動したことを昨日のこのように思い出します。下級生に伝統を伝えていく上級生の姿は素晴らしく、また、それに真っ直ぐ真剣に応える下級生の姿も素晴らしいと感じています。3年間、佐中生が輝く姿をたくさん見せていただき、たくさんのことを学ばせてもらいました。教員生活のなかで初めての中学校勤務が、佐々木中学校だったことは、私にとって幸せなことでした。保護者の皆さん、地域の皆さんにも大変お世話になりました。佐々木中学校のますますのご発展をお祈りしています。ありがとうございました。

### 技術科非常勤講師 I 先生

今年度1年間、技術科を担当させていただきました。生徒のみなさんは、授業ではいつも私の指示を正しく理解してくれ、進んで発展的な内容に挑戦してくれました。どの学年の生徒も、自ら安全管理をしっかりと行っていたので、ケガがとても少なかったです。自己管理の意識がとても高いことに感心していました。授業以外のところでも、昼休みに、生徒のみなさんと一緒に体育館で遊んだことはよい思い出です。ボールをぶつけられたり、ぶつかったりした時間はとても楽しかったです。そんな時、私は、授業では見えない生徒のみなさんの別の魅力的な面を知ることができて、とても嬉しかったです。わずか1年間の勤務でしたが、私自身も心地よく過ごさせていただくことができました。佐々木中学校の生徒のみなさんだけでなく、保護者の皆さま、地域の皆さまにも大変お世話になりました。新天地でも、時には佐々木中のみなさんとの日々を思い出してがんばります。ありがとうございました。

### 補助教員 O 先生

佐々木中学校には、平成30年3月まで9年間お世話になりました。今回以外にも過去3回勤務させていただき、総計すると15年間、佐々木小学校で勤務した3年間を加えると佐々木中学校区には18年間勤めさせていただきました。たくさんの生徒と出会い、保護者の皆さん、地域の皆さんからお世話いただいた日々は、決して忘れることのできない大切な思い出です。私の抱く佐中生のイメージは、体育着の色の通り、曇りなく澄み渡る青空です。佐々木中を離任することはとても寂しい思いがいたしますが、常に前進しつづける佐中生に負けないように、私も新たな道に前進していきます。保護者、地域の皆さんにはいつも気軽にお声をかけていただきありがとうございました。感謝の気持ちでいっぱいです。



## 佐々木 PR 大作戦について地域や保護者の皆様からたくさんの感想をいただきました。

2月11日(日)に、市役所札の辻広場で行った「1年生 佐々木 PR 大作戦」については、「学校だより第18号」でも詳しくお伝えいたしました。活動後に、保護者の皆さまや地域の皆さまからたくさんのご感想やご意見をいただきました。ありがとうございました。

1年生は、そんな感想や意見を読み、次年度の新たな活動への意欲が湧いているようでした。  
《保護者や地域の感想・意見(一部)》

- 大きな声で接してくれていました。おにぎりもおいしかった。
- 生徒たちの笑顔にびっくり。積極的な交流でした。
- 元気にチラシを配っている姿を見て、誇らしく思いました。
- 女子生徒のしっかりした話しぶりに感心しました。
- 生徒たちの有意義な活動は地域の大人を覚醒させてくれます。



### 《生徒の感想》

**1年 TM** 「これからも続けてください」という感想もあり、来年度入学してくる1年生に私たちの活動を引き継いでほしいです。「良かったよ」とか「声か大きくてよかった」といって褒めてくださる言葉がたくさんあり、PR大作戦の活動をやってよかったと思いました。佐々木にしかない魅力に気付かされる活動でもあり、佐々木中にしかできない活動だと思うので、これからもこの活動が続いてほしいです。

**1年 IM** 「感動した」という声が多かったので、うれしいです。感想や意見を読み、自分たちの取り組んだことの良さが改めて分かりました。初めての挑戦で分からないことだらけだったけど、温かい言葉をたくさんいただき、これからもがんばろうと思いました。地域活性化についてはまだまだ課題がたくさんあると思うので、これからも考えていきたいです。

**1年 OT** 「笑顔」「元気」などの言葉をいただけて、よかったです。僕たちが取り組んだこの活動を、違うかたちのイベントであってもいいので、新しい1年生がイベントをやってくれたらいいなと思いました。これからも、交流を深めるために、地域の人に会ったら欠かさず挨拶をしていきたいです。

**1年 SH** 私たちがこのプロジェクトに取り組んだことを、地域のみなさんから感謝していただけたと知り、改めて「やってよかった」と思いました。感想からは、「元気がいい」「笑顔がいい」と誉めていただきました。私たちは、実行力だけでなく、表現も豊かで、誰とでも自然に接することができるキセキの学年(仲間たち)なんだなと思いました。今回の活動を誇りに思い、次へジャンプしていきたいです。来年度の1年生にも、地域活性化に向けて何かに取り組んでほしいです。

**1年 IK** イベントの事前準備やイベント当日に私たちの活動を励ましてくれた皆さんに「成長した」「積極的でよかった」と言ってもらえて、とても嬉しかったです。感想の中にありましたが、「本当は、毎日の生活の中で、自分の住んでいる佐々木が大好き、いい所だよな!」などと思う気持ちが大事」という言葉を大切にしていきたいです。

**1年 GS** 感想や意見を通じて佐中生をととてもほめていただいて、誇りに感じました。イベント当日には、佐中生ならではの良さをいろいろな人に発信でいたんだなあと、感想を読んでいて安心しました。「佐中生の笑顔がすばらしい」という感想があり、みんながしっかり交流ができていてえらいなあとと思いました。

**1年 YK** 今回の企画に感動して下さった人がいて、僕もこの活動をしてよかったと思いました。積極的に活動することで喜んでくれる人がいてくれるならば、来年度の1年生にも地域活性化を考える活動をしてほしいと思いました。

# 来年度も佐中生の「元気と笑顔の輪」を広げよう



3月5日 卒業コンサート



3月5日 卒業コンサート



3月5日 同窓会入学式



卒業生とK用務手さんの記念撮影



1年生 家庭科で刺繍



2年生 英語でプレゼン



3月12日 陸上部グラウンドで部活動



3月19日 2年生修学旅行先の商人体験での「お米」の包装作業



3月19日 2年生修学旅行先の商人体験での「お米」の包装作業